

## 防火ダンパー（外復帰形） ・ DV-14DF ・ DV-20DF ・ DV-20DFP

- このたびは防火ダンパーをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。お求めの防火ダンパーを正しく使っていただくために、この取付説明書をよくお読みください。
- この防火ダンパーはダクトが防火区画を貫通する場合に設置される防火ダンパーで、火災の発生により煙や炎等がダクト内に流入し、ダクト内の温度が急激に上昇した場合に温度ヒューズが熔断することにより自動閉鎖装置が作動してダンパーのシャッターを閉鎖し、煙や炎等がダクト内を通して他の区画に移動流出することを防止するために使用します。
- この取付説明書は工事完了後、お客様にお渡しください。

### 安全上のご注意

- 商品および取扱説明書にはお使いになる方やほかの人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。
- 記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

表示	表示の意味
<b>警告</b>	誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
<b>注意</b>	誤った取り扱いをすると人が傷害を負ったり、* 物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号の意味 \* 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号	図記号の意味
<b>使用禁止</b>	⊘ は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、⊘ の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は「禁止」を示します。
<b>確実に取り付ける</b>	● は強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、● の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は「確実に取り付ける」を示します。

### 警告

密閉または半密閉の燃焼設備（給湯器、ふろ釜等）の排気ダクトに使用しないこと

誤動作によりダンパーが閉じて、不完全燃焼により一酸化炭素中毒を起こす原因になります。



使用禁止

### 注意

強度のある所に確実に取り付けること

落下によりけがをする原因になります。

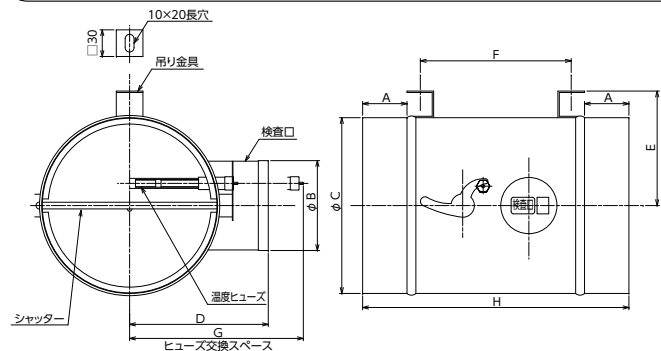


確実に取り付ける

### 取付前のご注意とお願い

- 温度ヒューズの点検や交換ができるところへ取り付けてください。（手の届かないところへは取り付けないでください。）
- この防火ダンパーは地区により規制を受ける場合がありますので、ご使用にあたっては、あらかじめ所轄官公庁（特に消防署）にご相談ください。
- 化学薬品を使うような場所には取り付けないでください。

### 外形図



#### ※温度ヒューズの種類

DV-14DF DV-20DFP 一般用 72℃  
DV-20DF 厨房用 120℃

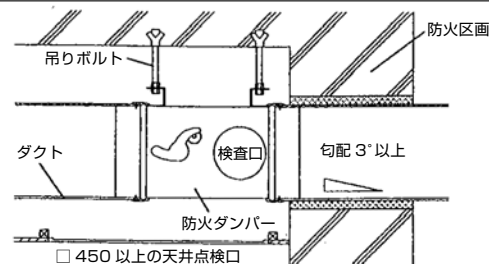
#### ※特定防火設備該当証明書番号

DV-14DF DV-20DFP 第 01EG018 号  
DV-20DF 第 01EG019 号

#### \* 寸法表 (単位：mm)

形名	A	B	C	D	E	F	G	H	適用パイプ径
DV-14DF	37	60	98	95	80	120	163	250	φ100
DV-20DFP	37	85	148	118	105	170	188	300	φ150
DV-20DF	37	85	148	118	105	170	188	300	φ150

### 取付図

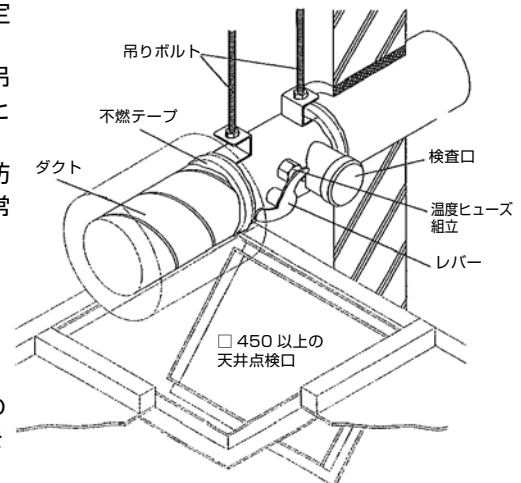


外  
壁  
側

### 取付方法

- 取付工事前に製品に変形など異常がないか確認してください。

1. ダクトに防火ダンパーを確実に差し込み、接続部分をねじで固定し、その上に不燃テープをまいてください。
2. 防火ダンパーの固定は、防火ダンパーの吊り金具（2 ヵ所）と吊りボルトなどで建築構造物の躯体に確実にしてください。そのとき、必ず防火ダンパー単独で吊り込みをしてください。
3. 防火ダンパーとダクトの取り付けが完了したとき、閉鎖装置、防火ダンパー本体に異常がないか目視し、作動テストによって異常のないことを確認してください。



### ご注意

- (1) 防火ダンパーの点検口は必ず設置してください。又点検口の大きさは□450mm 以上としてください。
- (2) 防火ダンパー及び天井点検口については、作業空間（外形図の温度ヒューズ交換スペース参照）ならびに保守のための空間を確保するように設置してください。
- (3) ダクトの配管については、配管内のドレンのために、配管勾配は外壁に向かって 3° 以上の下がり勾配をつけてください。
- (4) ダクトに保温材を巻くときは、温度ヒューズ、レバー及び検査口には絶対に巻かないでください。（故障、不作動の原因及びシャッターの点検ができなくなります。）
- (5) 防火区画貫通部から防火ダンパー本体までの距離があるときは、板厚 1.5mm 以上の鋼板製短管で接続してください。

### 温度ヒューズ交換方法

- 万一火災が発生し、防火ダンパーが働いたときは、換気扇の排気できません。そのときは温度ヒューズを交換してください。（温度ヒューズは専用温度ヒューズをご使用ください。）
- この製品には一般用 72℃、あるいは厨房用 120℃の温度ヒューズが取り付けられています。（詳しくは「外形図の温度ヒューズの種類」をご参照ください）。建築基準法に基づく使用場所と適合させるために、温度ヒューズの交換が必要な場合には、温度ヒューズ（サービスコード No.41178096）を別売しておりますので、お買い上げの販売店にご相談のうえお買い求めください。

#### 〈温度ヒューズの交換方法〉

1. 温度ヒューズ組立のキャップを回し、防火ダンパーのニッブルから取りはずします。
2. キャップをはずして温度ヒューズを交換し、元のように組み立てます。組立は、ヒューズホルダー内にワッシャ、温度ヒューズ、ヒューズ押さえ、スプリングの順に組み込み、キャップをしっかり閉じます。

#### お願い

組立後、温度ヒューズ組立を右上図矢印 A 側よりみて、温度ヒューズがヒューズホルダーの丸穴から、温度ヒューズの先端が確実に見えることを確認してください。（B 図）

3. ①防火ダンパーのレバーを反時計回りにいっぱいまで回したまま、②温度ヒューズ組立を防火ダンパーのニッブル内に差し込み、キャップをしっかり締め込みます。

#### お願い

温度ヒューズ取付後、③レバーが温度ヒューズ組立のキャップから飛びでているヒューズ押さえに確実に引っかかっていることを確認してください。

